

交差点、自転車と衝突、自転車の男性死亡

2015年9月16日

警察は15日、栃木県内の交通事故で重傷を負い入院していた、アルバイト店員男性(27)が、事故を原因とする急性硬膜下血腫で死亡したと発表した。同署によると、9日午前0時25分ごろ、交差点で、会社役員男性(53)の乗用車と男性の自転車が衝突した。男性は頭の骨を折るなど重傷を負っていた。

“重大事故”が多発する「薄暮れ時」に要注意

急激な明るさの低下

ドライバー・歩行者ともに視界が悪くなりがちで、最も事故発生件数が多い危険な時間帯
日没から完全に暗くなるまでの時間が急激に短くなる

大型スーパー付近、高齢歩行者の“危険横断”に注意！

トラック事故の特徴 “追突事故”が多い

低速で追従するときは…

- 極端に「車間」をつめない
- 低速走行に「安心して」…長い「わき見」をしない
- 「肝心なもの」を見る、「注意力」を養う

「ヒヤリ」は、事故の「予兆！」
「安全確認」で、危険な「まさか…」を根絶！

道路前方の右からの横断者（対歩行者事故）

・車の「ライトの光」が「十分に行き届かない」、道路「前方の右側の暗がり」にも「しっかり」目配りし、その「暗がりから横断」してくる「歩行者」の「早期発見」に努めましょう

- 子供の飛び出しに要注意！
- スピードを落として、しっかり安全確認！

バック時は 降りて確認 乗っても確認

追突、玉突き事故を防ぐ 交差点手前で止まる時は車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認／よ〜し！」

交差点 右折のトラックと直進の軽乗用車衝突 88歳男性が死亡

(2015/9/15)

14日大分県の交差点で軽乗用車とトラックが衝突し、軽乗用車を運転していた88歳の男性が、15日朝死亡しました。14日午前、直進していた軽乗用車が、交差点の左側から右折しようとしたトラックと出合い頭に衝突しました。現場は片側2車線の国道と市道が交わる交差点で、双方に信号機が設置されています。警察は当時の信号機の状況を確認するなど、事故の原因を調べています。

ハチに刺されて運転 車正面衝突 意識なくアレルギー反応か

2015年9月15日(火)

14日午前9時すぎ、福岡県で60代男性の乗用車が中央線を越えて、対向してきた乗用車に正面衝突した。警察などによると、男性はハチに刺され病院に向かう途中だったという。男性は意識がなく、署はハチの毒によるアナフィラキシーショックを起こした可能性があるとして調べている。アナフィラキシーショックは、ハチの毒などが原因で呼吸停止や血圧低下を起こす急激なアレルギー反応。消防署は「アナフィラキシーショックの場合、口元のしびれやじんましん、吐き気などの症状が出る。刺された時はまず救急か病院に連絡して素早い対応を」と呼び掛けている。

乗用車の82歳逆走、トラックと正面衝突し死亡

2015年9月15日

14日午後9時25分頃、長野県の長野自動車道で、無職の男性(82)の乗用車が逆走し、運転手(32)の大型トラックと正面衝突した。男性は肝臓損傷などで死亡した。事故直前、「車が逆走している」と110番があった。

前日夜に飲酒⇒朝、酒気帯び運転容疑で逮捕

2015.9.11

兵庫県で、酒を飲んで車を運転したとして、道路交通法違反(酒気帯び運転)容疑で警察に逮捕された市の男性職員(55)について、市は、停職2カ月の懲戒処分にしたと発表した。市によると、職員は2月28日午前9時半ごろ、市道で酒気帯び状態で軽乗用車を運転したとして現行犯逮捕された。職員は信号待ちをしていたミニバイクに追突し、運転手の女性(38)に軽傷を負わせた。職員は、前日夜に自宅で缶ビールや焼酎などを飲んでいたといい、この日は非番で朝食を食べていく途中だったという。7月13日に過失運転致傷罪などで在宅起訴され、同月17日に簡裁から40万円の略式命令を受けている。